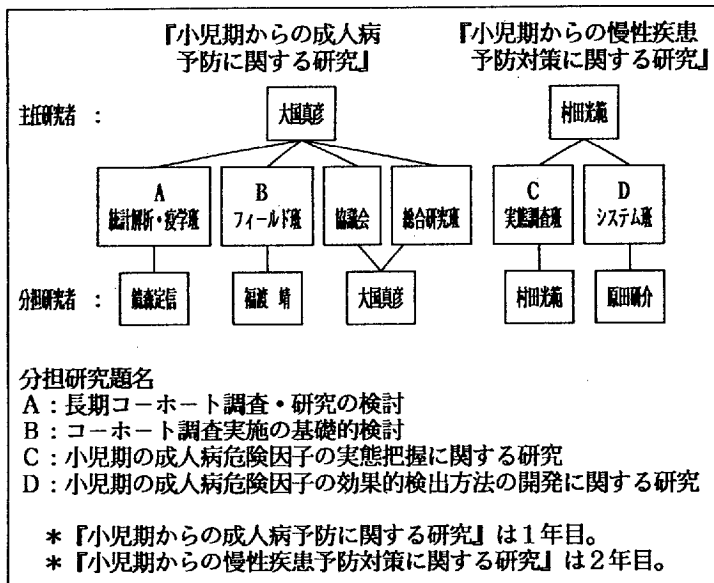


序

平成元年度より厚生省心身障害研究班の一環として、『小児期からの慢性疾患予防対策に関する研究』班が大国を主任研究者として発足し、その中にシステム班と実態調査班が置かれたが、平成2年度よりこれと伴行し、かつ相協力する形で『小児期からの成人病予防に関する研究』班が新たに発足した。後者の主任研究者に大国が任じられたため、前者の主任研究者あるいは分担研究者が新たに任命された。村田班の研究報告書は、別に刊行される予定である。

成人病予防研究班にはコーホート研究に関する鏡森班（統計解析・疫学班）と福渡班（フィールド班）が結成され、大国・久道・日比三者による総合研究班と慢性疾患班より協議会が移され、図にみられるような編成となった。

『小児期からの成人病予防に関する研究』班



成人病予防班と慢性疾患予防班とは結成年度も異なり、別の班組織であるが、両班が協力して研究目的を達成することが期待されるものである。

成人病予備軍が増加していると考えられる現在、その実態を明らかにし、さらにその原因を究明し、将来の成人病予防のため最も有効な方法を見出し、コスト・ベネフィット面からみても、わが国に合った介入手段を確定することは極めて重要であるが、そのためにはかなり長期に亘るフォローアップと事前の綿密な調整が必要である。

以下は協議会、総合研究班および各班の今年度の成績である。尚、巻末に協議会委員及び各班の協力者名簿を掲げる。

< 主任研究 >

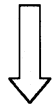
主任研究者	主任研究課題
大 国 真 彦 (日本大学)	小児期からの成人病予防に関する研究

< 分担研究 >

分担研究者	分担研究課題 *研究協力者	期待される研究成果
大 国 真 彦 (日本大学)	小児期からの成人病予防に関する総合研究 *久道 茂 (東北大学) *日比 逸郎 (国立小児病院)	・今後の長期にわたるコホート調査、研究の方法の統一。
鏡 森 定 信 (富山医科薬科大学)	長期コホート調査・研究の検討 *飯田 恭子 (富山県黒部保健所) *中川 秀昭 (金沢医科大学) *五十嵐正紘 (自治医科大学) *永井 正規 (自治医科大学) *吉田 勝美 (慶応大学) *斎藤 友博 (国立小児病院小児医療研究センター) *村瀬 雄二 (済生会神奈川県病院) *吉村 健清 (産業医科大学)	・今後の追跡成績の時代的変遷を分析するための、基礎情報を入手する。
福 渡 靖 (順天堂大学)	コホート調査実施の基礎的検討 *有阪 治 (順天堂大学) *大和田 操 (日本大学) *蓑輪 真澄 (国立公衆衛生院) *住友真佐美 (東京都泊江保健相談所) *清水 弘之 (岐阜大学) *神谷 齊 (国立療養所三重病院) *岡田伸太郎 (大阪大学) *北田 実男 (大阪府立成人病センター) *森尾 真介 (鳥取大学)	・フォローする体制について、情報収集の経路組織、費用等についての参考となり、システム化が図れる。

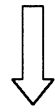
平成3年3月

『小児期からの成人病予防に関する研究』班
主任研究者 大 国 真 彦



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



平成元年度より厚生省心身障害研究班の一環として、『小児期からの慢性疾患予防対策に関する研究』班が大国を主任研究者として発足し、その中にシステム班と実態調査班が置かれたが、平成2年度よりこれと伴行し、かつ相協力する形で『小児期からの成人病予防に関する研究』班が新たに発足した。後者の主任研究者に大国が任じられたため、前者の主任研究者あるいは分担研究者が新たに任命された。村田班の研究報告書は、別に刊行される予定である。

成人病予防研究班にはコーホート研究に関する鏡森班(統計解析・疫学班)と福渡班(フィールド班)が結成され、大国・久道・日比三者による総合研究班と慢性疾患班より協議会が移され、図にみられるような編成となった。